

<b>東芝ライテック(株) 沼津工場 サイトレポート情報</b>	
所在地	静岡県沼津市原2608番地58
敷地面積	34,338m <sup>2</sup> 、建家面積: 10,139m <sup>2</sup> 、緑化率 27.1%
設立	2002年7月、従業員: 402人(2013年3月現在)
主要製品	施設用照明器具、インバーター安定器、配線部品
ISO14001認証取得	2002年3月、最新更新年月: 2013年3月 (ISO認証番号: YKA 0772893)



**ごあいさつ**

東芝ライテック(株)沼津工場は、静岡県東部の富士箱根伊豆国立公園に囲まれた温暖で水と緑に恵まれた自然環境の中で事業展開しています。工場ではLED照明を主とした施設用照明器具及び、その構成品のLED用電源、配線用部品、金属プレス部品や樹脂形成部品の製造をしています。LED照明器具の機種を大幅に拡大し、使用段階でのCO2排出量削減をさらに推進しており、生産活動全般で業務効率の改善を含めた環境負荷低減に全員で取り組んでいます。



環境管理責任者 山本 一行

**2012年度の環境の主な取組み**

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム  
2002年3月に認証取得、2013年3月に更新完了
- ☆環境保全体制の充実  
法令、条例の順守・現場管理の強化
- ☆LED照明器具の生産拡大  
生産拡大中のLED照明器具を工場内に設置し、お客様へのデモに貢献。
- ☆化学物質大気排出量の削減  
化学物質の大気排出量を、2003年度と比べて、55%削減(目標54%削減)。
- ☆CO2排出量の削減  
CO2(電力量)の生産高原単位を、2003年度と比べて、54%削減(目標30%削減)。
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続  
廃棄物総発生量の生産高原単位を、2003年度と比べて、72%削減(目標68%削減)。  
最終処分率は、0.14%。
- ☆全員参加・啓発活動の展開  
環境月間、3R推進月間、省エネ月間による環境啓発活動。
- ☆地域社会との協調  
地域の中学生・高校生による職業体験受入、工場周辺の美化活動実施。

**製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介**

**一体型LEDベースライト**

従来の蛍光灯器具と比較し25%の省エネ

**LEDスクエアベースライト**

従来の蛍光灯器具と比較し51%の省エネ

**LEDベースライト 冷凍倉庫用**

-40°Cでも変わらない明るさと、約59%の省エネ

**LED直管ランプ器具**

**環境配慮型要素部品**

薄型端子台  
LED用電源

**フランス・ルーブル美術館にLED照明納入**

## 東芝ライテック株式会社環境方針

東芝ライテック株式会社は、東芝グループ環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

当社は、ランプ、照明器具、システム機器、自動車・O A及び情報機器等の産業用光源及びその応用分野の製品開発、製造、販売、サービスのあらゆる面において、環境保全活動を技術的、経済的に可能な範囲で次により推進します。

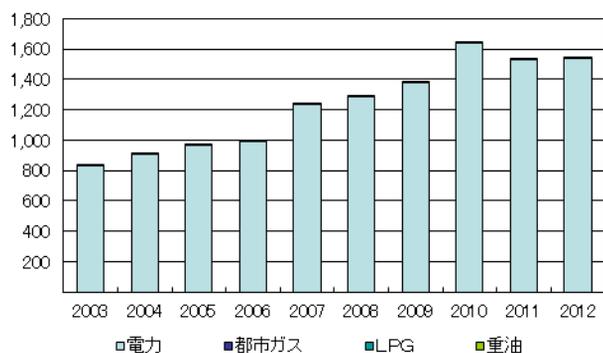
1. 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図り、各地区の従業員で業務を行うすべての人に周知し取り組みます。
2. 環境側面に関する法律、規制および各地区が同意するその他の要求事項の遵守は最低限の責務との立場に立ち、汚染の予防を図るためより厳しい自主基準を定めて管理します。
3. 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進すると共に、ライフサイクルを通じて環境負荷低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
4. 事業活動、製品サービスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響評価し、環境負荷の低減、汚染防止などに関する環境目的および目標を設定し環境活動を推進します。
5. 各地区が行う業務活動が環境に与える影響の中で、特に以下の項目について、優先的に環境保全活動を推進します。
  - (1) 環境調和型製品の提供において、LED照明を始めとする高効率照明の普及・拡販に努めます。また、製品含有有害物質に関する法令遵守および代替、削減を推進します。
  - (2) 地球温暖化防止の認識の基に、全ての設備の運転管理の徹底、設備小改善等により、電気、天然ガス等についてCO<sub>2</sub>排出量の削減等を推進します。
  - (3) 水質・騒音等にかかわる施設については管理の徹底、設備改善等を行い環境に与える影響を最少にするとともに事故等の予防措置に努めその訓練を行います。
  - (4) 限りある天然資源を守るために、廃棄物総発生量の抑制及び分別の見直し、産業廃棄物の分別の徹底を図りゼロエミッションを継続します。
  - (5) 生産活動で環境に負荷を与える化学物質（酢酸ブチル、硫酸、硝酸等）については、徹底した管理を行うとともに、代替えへの転換、削減、回収等を行います。
6. 取引先への指導・支援を行うとともに、地域社会とのコミュニケーションを継続的に行い、地域への貢献を図ります。

平成25年 4月1日 改正

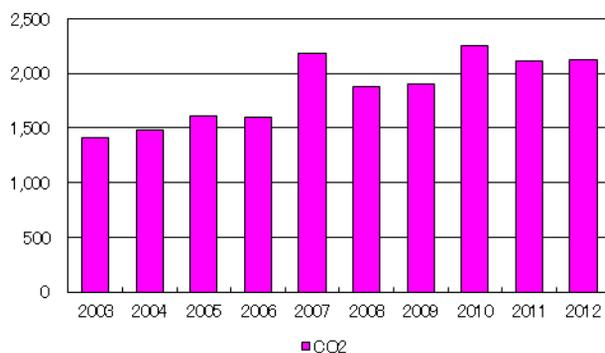
東芝ライテック株式会社  
取締役社長 渋谷 徹

環境負荷データ

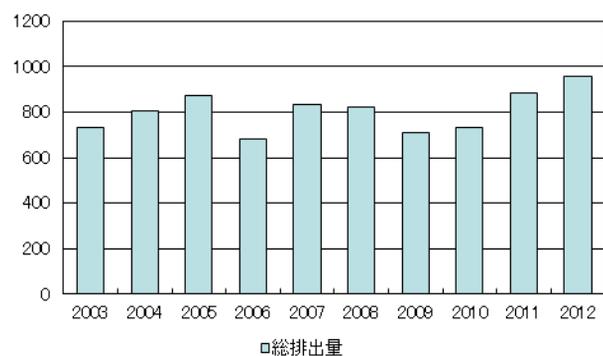
エネルギー使用量(単位:KL)



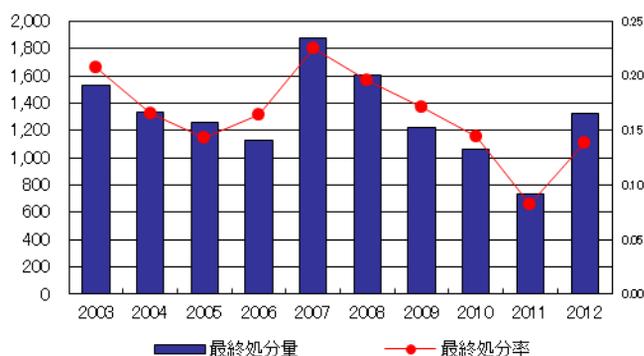
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

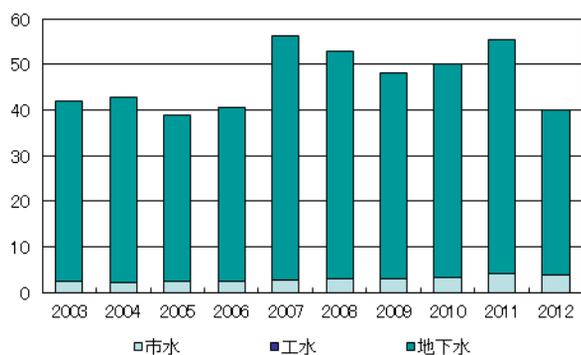


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

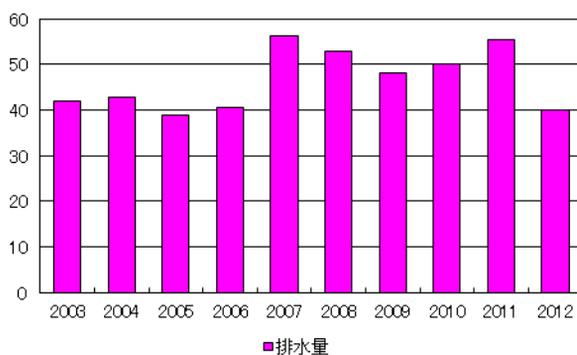


主な廃物名 : 金属、プラスチック、紙、木、ガラス、油等

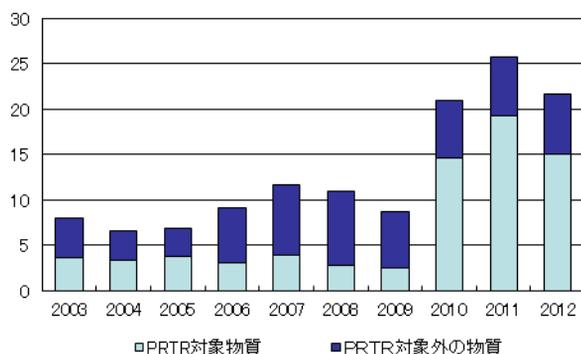
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



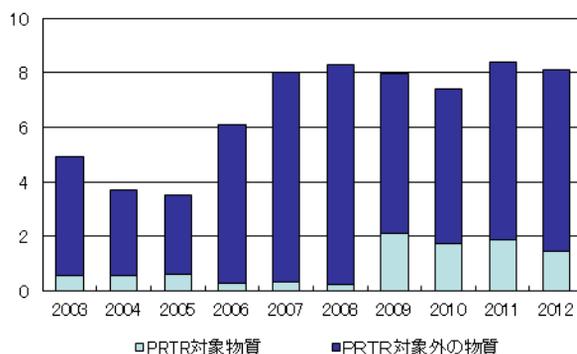
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質 : アンチモン化合物、アセトン、IPA、スチレン、メチルピス

**遵法管理状況**

＜大気測定結果＞（対象施設なし）

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	—	—	—
SOx(Nm3/h)	対象外	—	—	—
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	—	—	—

＜排水測定結果＞（特定施設なし）河川へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6	—	8.0	年2回
BOD(mg/ℓ)	160	—	1.5	年2回
COD(mg/ℓ)	160	—	1.6	年2回
SS(mg/ℓ)	150	—	2.0	年2回
Nヘキサン抽出物質(鉍) (mg/ℓ)	5	—	0.5未満	年2回
亜鉛(mg/ℓ)	2	—	0.2未満	年2回

＜騒音・振動測定結果＞ 特定施設 騒音：118施設(機械プレス)、振動：69施設(機械プレス)

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	70	65	59.5	年2回
	敷地境界:夜	60	55	47.3	年2回
振動(dB)	敷地境界:昼	70	60	33.2	年2回
	敷地境界:夜	65	55	24.1	年2回

＜その他測定結果＞（下水道法:主な測定結果）

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0～9.0	5.7～8.7	8.4	年4回
BOD(mg/ℓ)	600	300	92	年4回
SS(mg/ℓ)	600	300	64	年4回

＜環境事故・指導指摘・苦情の有無＞

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

## 環境コミュニケーションの紹介

### <高校生によるインターンシップの受入>

地元 沼津工業高校生徒のインターンシップの受入を実施し、4名が2日間に渡り、LED照明器具とインバーター安定器の組立を体験されました。

(実施概要) ・日時：2012年6月7日、8日 ・参加人数：4名



### <中学生によるインターンシップの受入>

地元 原中学校生徒のインターンシップの受入を実施し、4名が2日間に渡り、LED照明器具とインバーター安定器の組立を体験されました。

(実施概要) ・日時：2012年11月1日、2日 ・参加人数：4名



### <沼津工場構外清掃活動の実施>

毎年6月の環境月間と11月の沼津市内一斉クリーン週間に合わせ年間2回、近隣道路周辺の清掃活動を、2001年12月より10年以上に渡り実施しています。

隣接する国道1号線バイパス沿いの延べ約2kmにわたる沿道美化を行いました。

この活動を通し、従業員の環境保全に対する意識向上も推進しています。

#### (実施概要)

- ・日時：2012年6月13日、11月14日
- ・参加人数：各約100名
- ・ゴミ袋 各30袋分程の廃棄物を回収し、沼津市に引渡しを行いました。

今後も沼津市をはじめとする地域環境活動への参加を継続していく予定です。

